

No. 質問		回答
1	仕様書 4 業務内容 （２） 行政手続オンライン化ＢＰＲ・伴走型支援 エ 電子申請フォームの作成及び改善支援 について ・発注者が利用する電子申請システム等を活用し、担当職員が自律的に申請フォームを構築・運用できるよう、以下の技術的な支援を行うこと。とございますが、貴庁が利用されている電子申請フォームの製品名をご教示願えますでしょうか。また、申請フォームの構築にあたり、受託者にて当該電子申請フォームの提供会社と協議・連携のうえ作業環境を準備するものと考えてよろしいでしょうか。	電子申請フォームの製品名は、「LoGoフォーム」となります。 また、申請フォームの構築についてですが、本業務は、職員が申請フォームの作成・修正を行いますので、その補助として設問定義や画面構成の提案等を実施するものとなります。そのため、受託者とフォーム提供会社との協議は不要と考えております。
2	募集要領P3「7 企画提案書等の提出(1)提出書類」における「ウ 企画提案書」とは、様式として配布されている「提案概要表」のことを指しているということでしょうか。	「ウ 企画提案書（要約版）」は、任意様式のものとなります。
3	仕様書4 業務内容(2)ウ 具体的な業務改善(Can-Be)(ア)の設計書とは、成果物の電子申請フォーム設計定義書のことを指しているのでしょうか？	仕様書4 業務内容(2)ウ 具体的な業務改善(Can-Be)(ア)の設計書とは、業務フローの改善を図るための具体的な提案を指すものであり、「電子申請フォーム設計定義書」ではなく 7 成果品及び提出期限の「行政手続業務フロー見直し提案書」に含まれるものです。
4	令和8年度AI-OCR・RPA推進業務で導入されているツールと、各ネットワークにおける利用環境(ライセンス数・ライセンス配布状況等)をご教示ください。	AI-OCRは「DXSuite」、RPAは「UiPath」をツールとして活用しています。 DXSuiteは、DXSuiteProプランとなっております。 UiPathのライセンス数は、シナリオ作成及び実行可能ライセンスが2ライセンス、シナリオ実行可能ライセンスが5ライセンスとなっております。ライセンスは、特定の端末に固定せず、ツールの起動・終了に合わせて動的に割り当て・解放が行われる仕組みとなっております。 なお、各部局の共同利用のために構築したローカルエリアネットワークからインターネット等の外部のネットワークに接続し、情報の送受信を行う「情報系ネットワーク」での利用を想定しており、LGWAN環境やマイナンバー系ネットワークでの利用は想定していません。
5	仕様書4(2)ウ 具体的な業務改善(Can-Be)(ウ)で、"受注者が提供するツール"との記載がありますが、本業務においてツールの提供を仕様とされているのでしょうか？ その場合、どのようなツールを求められているのか、仕様書上の該当箇所も含め、ご教示ください。	本業務において、「ツールの提供」を必須のものとして仕様で定めたものではなく、受注者からのツールの提供があった場合を想定した記載です。
6	仕様書カ その他業務支援で相談対応する10業務程度の業務について、対応する業務の選定等に行われない認識でよろしいでしょうか？	対応する業務の事前選定は行いません。対象手続 8 業務以外の手続きにおいて、職員が作成した電子申請フォームや業務フローの改善案に係る相談があった際に対応いただくものとなります。
7	評価指標4. 伴走型支援の具体性・実効性で、「職員が電子申請システム上で迷わず業務フロー等が構築できるよう」とありますが、電子申請システムで対象業務における業務フローを作成するのでしょうか？ それとも、検討した改善案での業務フローに基づき、申請フォームを構築するということを指しているのでしょうか？	受託者の支援（あるべき業務フローや具体的な業務改善案等設計支援、技術的助言及び検証支援）に基づいて職員が業務フローを電子申請システム上で構築することを想定した文言です。受託者が電子申請システム上で作業する工程は想定しておりません。
8	評価指標8.実施体制及びスケジュールにおいて、6手続きを支援する体制とありますが、対象手続一覧に記載されている業務が8手続のため、正しくは8手続きということでしょうか？	8 手続が正しいものとなります。 訂正いたします。HPは、令和8年7月24日に更新しました。